

25.6
25.6
25.6

アユ元気に育て

田代小児童
耳川へ放流

美郷町・田代小（東村真一校長、87人）の3、4年生29人が5月28日、同町を流れる耳川にアユの稚魚などを放流した。

放流を通して子どもたちに自然環境保護への意識を高めてもらおうと、九州電力耳川水力整備事務所や、西郷漁業共同組合などが協力して毎年実施している。今回は、アユの稚魚約2千匹とウナギ90匹を同町西郷区の石峠レイクランド前で放流。

子どもたちは、バケツに入ったアユの稚魚を、手で触れないようにそっと水の中に放ち、勢いよく群れで泳ぐ姿に

歓声を上げた。その後、ウナギの放流にも挑戦。ぬるぬる

した触感のウナギに苦戦しながらも楽しそうに1匹ずつ放した。3年の井上智夢君（8）は「元気に大きく育ってほしい」と話していた。



耳川にアユの稚魚を放流する田代小の児童